

旅行会報告

旅行会報告

旅行会担当幹事 小 泉 雅 裕

[伊東温泉にて]

恒例の日弁旅行会が7月12日(土)~13日(日)の日程で開催されました。場所は、伊豆、伊東温泉の海風庭えびな。海岸に面して相模湾を一望でき、広大な日本庭園を有する落ち着いた雰囲気のホテルです。本年度は、特定侵害訴訟代理業務の能力担保研修日程を考慮し、例年より遅い時期の開催になりました。

この時期の開催は、梅雨時ということもあり天候が心配でしたが、幸い曇りで幹事一同ホッと致しました。本年度は、諸般の事情により、日弁各会派以外には西日本弁理士クラブだけの参加という形になり、総勢83名の先生方にご出席頂きました。

今回の旅行会では、今までにない新しい試みとして講演会を企画し、講演者として、渡辺望稔先生(PA会)及び佐藤辰彦先生(春秋会)をお願いするようにしました。

[講演会]

講演会は、別館1階の「蓬莱の間」にて日弁第2回総会后15時10分から行なわれました。講演会は、開始時間が早く、聴衆者が集まるか否か少し心配しましたが、30名以上の多くの先生方にお集まり頂き、波多野日弁幹事長の進行の下に盛大に行われました。

最初の講演は、佐藤辰彦先生による「最近の中国知的財産事情と日本弁理士会の活動」という演題で約30分に亘って行われました。

中国知的財産制度の整備が進んできている点、日本企業の中国知的財産対策が遅れている点、更には、日本弁理士会の中国における模造品対策活動についてのお話があり、大変興味深く拝聴致しました。ま

た、中国で最近出された行政判決(本田技研の意匠特許の無効に関する行政係争:(2003)高行終字第15号)についてもご紹介頂きました。

次の講演は、渡辺望稔先生による「弁理士、弁理士会はどこへ行くのか!」という演題で約30分に亘って行われました。

弁理士、日本弁理士会の将来像について、国際対応、国内対応、団体対応、政治対応の各観点から明確に分析され、これらの分析に基づいて、弁理士、日本弁理士会としての進むべき方向性についてのお話がありました。現在の我々弁理士を取り巻く状況について大変説得力のあるご説明で、身の引き締まる思いで拝聴致しました。

両先生のご講演後には質疑応答が活発に行われ、各聴衆者は大変満足されたものと確信致します。両先生にはこの場をお借りして改めて御礼申し上げたいと存じます。



佐藤先生のご講演



渡辺先生のご講演



熱心に聞き入る観衆

〔宴会〕

その後、各自入浴を済ませてから、宴会場である本館2階の「高砂の間」に集合して頂きました。このとき、大浴場では入浴者の集中によりちょっとしたラッシュアワー状態を味わいましたが、何とか時間までに宴会場にたどりつきました。

さて、宴会場では、恒例の集合写真の撮影が行われた後、須藤浩担当幹事の司会の下に宴会が始まりました。

波多野日弁幹事長のご挨拶の後に、下坂日本弁理士会会長のご挨拶が続き、その後、石田日本弁理士会副会長により各副会長の先生方のご紹介がありました。そして、松田西日本弁理士クラブ幹事長のご挨拶が行われ、その後、各会派の出席者の紹介がその場に起立する形で行われました。しかる後、瀧野日本弁理士クラブ相談役の乾杯のご挨拶が行われ、これを機に、会食、歓談タイムへと入りました。

目の前の食卓には、伊東温泉という地の利を生かした海の幸、山の幸をふんだんに使った料理がところ狭しと並び、酒、料理を賞味しながら、10名程のコンパニオンによるお酌、語りも手伝って、あちらこちらで、歓談に花が咲いておりました。

そして、畑中日弁副幹事長による中締め後、吉岡日弁副幹事長のご挨拶により宴会は無事に終了致しました。

〔二次会、そして夜はまだ続く……〕

二次会は、数人のコンパニオンに残ってもらい、本館の「孔雀の間」で行われました。約30～40名の多くの先生方が参加下さり、仲間内で酒を交わしな

がら語り、夜が更けていくのも構わず、大いに盛り上がりおられました。また、一部の先生方は館内のクラブに行かれたり、囲碁、将棋などに興じられたり、あるいは、各部屋毎に更に飲み直すなど夫々楽しまれていたようです。



下坂会長挨拶



瀧野日弁相談役乾杯挨拶



友党・友好！



宴会真っ最中 その1

深夜近くには、小雨が降り始めましたが、伊東の夜の街に繰り出す先生方も何組かいらしたようで、伊東温泉の夜を十二分に満喫されたことと思います。

〔2日目のイベント〕

2日目は、早朝大荒れの天候でしたが、幸いなことに次第に小雨模様になり、ゴルフ、釣り、小旅行の各イベントが予定通り行われました。以下夫々の担当幹事からの報告です。尚、ゴルフ大会報告は別記事にて福田日弁福幹事長より詳細に報告致します。

釣り報告 (担当幹事 小泉 勝義)

日弁旅行会の翌日(7月13日)午前8時に、峰 唯夫会員、久保 司会員、私の3名の釣り人で、曇天、荒れ模様の中、伊豆伊東港から仕立て舟(貸し切り)第十八はるひ丸に乗舟して出漁。

対象魚は「白ぎす」

サンハトヤ沖の釣り場に着き、釣りを開始するも魚信なし。

波と風で舟が安定せず、釣り糸も底立ちが取れないため、当たり(魚信)が取りにくい。

船頭さんも一生懸命操舟し、何度か場所を変えてくれたので、やっと当たり(魚信)が出はじめ、全員魚の顔を拝み、笑顔になった。

釣れた魚の魚種は、白ギス、あなご、メゴチ、カワハギ、カナシキ鯛等で五目釣りとなってしまいました。

圧巻は、峰会員がカナシキ鯛を一荷(2匹)で釣ったこと。

このカナシキ鯛の表情を見ると、「悲しき鯛」と名前を変えたくなりました。

午前11時、沖上がりとなって港に戻り、3人一緒に車で熱海駅前に行き、美味しい昼食(ラーメン)を食べて自由解散。

釣果は今イチでしたが、仕立て船(貸し切り)で和気アイアイと気兼ねなく釣りが出来たと思います。

今回はもっと多くの人を募って楽しい釣りが出来たらと思います。

なお、釣りの状況をお伝えするために、幹事会よりインスタントカメラをお預かりしていたのですが、不注意でカメラを紛失し、写真を載せることが出来なくなっていました。心よりお詫び申し上げます。

小旅行報告 (担当幹事 須藤 浩)

今年度の「小観光」は5名と小人数だったこともあり、大型のハイヤーで伊東周辺の有名な観光地の幾つかを廻ることにした。旅行会社の担当者と事前に打合せをしたものの、「ハイヤーの運転手にまかせておけば大丈夫ですよ」というアドバイスを頂戴しただけであり、当日の朝までほとんど何も決まっていなかった。不安でいっぱいだった。

二日酔いの私を含む5名で旅館「えびな」を出発し、まずは「東海館」を訪れた。「東海館」は、昭和3年創業で平成9年に幕を閉じた伊東温泉旅館であり、皆、歴史ある和風建築に見入っていたが、私は激しい頭痛と戦っていた。

次に、城ヶ崎海岸を訪れ、海岸の上から伊豆半島の東側の海を一望し、おいしい空気をたくさん吸ったあと、一碧湖などの観光スポットを通りながら「シャボテン公園」へ向かった。移動中の車内では、周辺地域の歴史や見所などをハイヤーの運転手さんが丁寧にガイドしてくれた。

「シャボテン公園」では、1時間ほどではあるが、自由行動とすることにした。サボテンを観たりお土産を買ったりして皆それぞれ楽しんでた。私といえば、心地よい霧雨を浴び、ようやく二日酔いから復活していた。気分も良くなってきたので、お土産屋を探しながら散歩していると、世界最大のねずみ

「カピバラ」と目が合ってしまう、何故かそのまま、どれぐらいの時間だったかは記憶にないが、見つめ合っていた。目と目で通じ合った「カピバラくん」のせいにはしたくないが、ゆっくりお土産を買うことはできなかった。

「シャボテン公園」での観光を終えると、記念写真を撮ったあとハイヤーに乗り込んで熱海に向かった。熱海までの車中は、渋滞していたこともあり、おそらく皆（少なくとも私は）爆睡だった。

最後の締めとして、熱海駅近くで昼食をとることにしていた。担当として、昼食だけは絶対に失敗のないようにと考えていた。さすがは地元のハイヤーの運転手さんで、おいしい店をたくさん知っており、その中でも特にお勧めという活魚料理の「雑魚屋」を選んだ。我々が食べたのは、刺身やてんぷらなどの魚料理のフルコースといった感じのもので、その店一番のボリュームのあるメニューだった。皆おいしそうに頬張っていたので、ホッと一安心した。

昼食を終えたあと、大成功(?)でお開きとなり、皆それぞれに熱海を発ち、自宅や事務所へと帰って行った。



城ヶ崎海岸



伊豆シャボテン公園

日弁ゴルフ大会報告

担当幹事 福 田 伸 一

本年度も日弁旅行会第2日目の行事として、恒例の日弁ゴルフ大会が西日本弁理士クラブの先生方にもご参加頂き、下記要領で盛大に開催されました。

場所 川奈ホテルゴルフコース 富士コース

日時 2003年7月13日(日)

今年も35名の参加を得て盛大に行うことができました。

昨年と同様、前日は大雨で、特に伊豆地方は幹線道路が不通になる等、大変な騒ぎでした。そのため、開催自体も危ぶまれたのですが、当日は雨も小降りになり、開催することができました。

ご存じの通り、川奈ホテルゴルフコース富士コースは男子プロトーナメント「フジサンケイクラシック」が開催され、また、日本国内でも有数の名門コースです。コースレイアウトがすばらしいのはもちろん、メンテナンスも万全であり、前日の大雨にもかかわらずフェアウェイ等のコンディションが上々で

あったのには驚かせられました。

灯台の見えるホール、プロでも手こずる超砲台ノのショートホール等、まさにテレビで見たままのコースでした。そのショートホールでは西日本弁理士クラブの香山秀幸先生がバーディを獲得しました。

本年度は、前日本弁理士会会長の笹島富二雄先生が優勝されました。会長職から解放された今、ゴルフをのびのびプレーできるようになったのが勝因ではないかと思えます。

準優勝は日本弁理士会現役副会長の大西正悟先生でした。前年度の村田実先生に続き、現役副会長連覇!、というわけにはいきませんでした。充分に実力を発揮されたものと思えます。



日本弁理士クラブゴルフ大会 順位表

2003年7月13日 川奈ホテルゴルフコース 富士コース

順位	氏 名	グロス	ハンディ	ネット	順位	氏 名	グロス	ハンディ	ネット
1	笹 島 富二雄	95	22.8	72.2	19	小 池 寛 治	98	21.6	76.4
2	大 西 正 悟	92	19.2	72.8	20	松 川 克 明	91	14.4	76.6
3	吉 岡 宏 嗣	104	31.2	72.8	21	須 藤 雄 一	106	28.8	77.2
4	江 原 望	103	30	73	22	河 野 哲	96	18	78
5	高 橋 俊 一	89	15.6	73.4	23	波 多 野 久	110	31.2	78.8
6	野 本 陽 一	106	32.4	73.6	24	松 尾 憲 一 郎	101	21.6	79.4
7	佐 藤 辰 彦	93	19.2	73.8	25	福 田 伸 一	105	25.2	79.8
8	西 島 孝 喜	104	30	74	26	筒 井 大 和	112	31.2	80.8
9	八 木 秀 人	91	16.8	74.2	27	樺 澤 聡	117	36	81
10	福 田 賢 三	107	32.4	74.6	28	富 崎 元 成	105	24	81
11	木 戸 一 彦	106	31.2	74.8	29	渡 辺 望 稔	109	27.6	81.4
12	丸 島 儀 一	99	24	75	30	小 西 恵	120	36	84
13	松 浦 喜 多 男	93	18	75	31	日 比 紀 彦	98	12	86
14	和 田 成 則	102	26.4	75.6	32	吉 田 稔	123	36	87
15	香 山 秀 幸	94	18	76	33	真 田 有	124	36	88
16	松 田 正 道	99	22.8	76.2	34	井 上 春 季	126	36	90
17	石 田 喜 樹	92	15.6	76.4	35	畑 中 芳 実	129	36	93
18	中 島 三 千 雄	98	21.6	76.4					